

呼吸器外科【Stage1】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

呼吸器外科は、呼吸器および縦隔疾患の診断から治療まで一貫した診療を行っており、その中で外科の位置づけを学び、知識と基本的技術の習得を目的とする。呼吸器外科の中で大きな比重を占める悪性腫瘍、特に原発性肺癌は悪性腫瘍の死亡原因の第一位であり、その克服は最重要課題である。このような悪性疾患にどのように取り組んでゆくかを 実地医療に参加することで学ぶ。

一般目標

- 1) 呼吸器疾患の基本的病態を把握し、外科的解剖と診断、外科治療の適応、術式の検討、周術期の病態生理を理解する。
- 2) 患者・家族とのコミュニケーションの取り方、信頼関係の構築について学ぶ。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

- 1) 診療チームの一員（指導医－担当医－研修医－実習学生）として症例を受け持ち、検査結果から手術適応、治療方針を判断し、症例検討会でプレゼンテーションを行う。
- 2) 担当患者の手術では手洗いをを行い、指導医の指導、監視のもとで、縫合・結紮の実技を行う。術後は創処置にも立ち会い、手術前後での一連の診療経過を把握する。
- 3) 外来日は外来診療（新患、再来）に立ち会い、新患の方針の決定や、再来患者は特に退院後の外来 follow-up について学ぶ。
- 4) 週に 1 回の診療科長回診時は bed side で適切なプレゼンテーションを行う。
- 5) 担当患者に関するレポートを提出する。

3. 実習上での注意事項

- 1) 時間厳守。遅れる場合は必ず医局に連絡をするようにお願いします。
- 2) 挨拶をする。
- 3) 身なりを整える。適した靴、清潔な服装および白衣を着用し患者に不快感を与えないようにする。
- 4) 患者（家族）には礼儀正しく、真摯な態度で臨む。
- 5) 個人情報の取り扱いには細心の注意を払う。
- 6) 検討会における、質疑への積極的な参加を希望します。

4. 「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示

1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき

問診、全身の診察、バイタルサインチェック、手術助手、縫合・結紮手技、
抜糸を含めた創処置、皮内、皮下、筋肉、静脈注射

2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される

手術、胸腔鏡操作の助手、患者・家族への病状説明、気管支鏡検査

呼吸器外科（乳腺外科と一部重複しています。）

[スケジュール]（第1週目）

曜日	担当教員	午前	午後
月	小副川・原 武安部・野 田	入院患者カンファレンス、グループ回診、手術	手術、病棟実習 肺癌キャンサーボード （第1週もしくは2週）
火	小副川・原 武安部・野 田	術後報告、術前症例提示、グループ回診、気管支鏡検査、外来診察	病棟実習 ミニレクチャー
水	小副川・原 武安部・野 田	症例カンファレンス、グループ回診、手術	手術、病棟実習 （ミニレクチャー）
木	小副川・原 武安部・野 田	術後報告、次週の術前カンファレンス、教授（科長）回診、気管支鏡検査、外来診察	病棟実習 ミニレクチャー
金	小副川・原 武安部・野 田	症例カンファレンス、グループ回診、手術、グループディスカッション	病棟実習 （ミニレクチャー）

集合時間：8時00分（月火水金）、7時45分（木）

集合場所：研究棟6階 ゲノム医療研究室

[スケジュール]（第2週目）

曜日	担当教員	午前	午後
月	小副川・原 武安部・野 田	入院患者カンファレンス、グループ回診、手術	手術、病棟実習 （ミニレクチャー）
火	小副川・原 武安部・野 田	術後報告、術前症例提示、グループ回診、気管支鏡検査、外来診察	病棟実習 ミニレクチャー
水	小副川・原 武安部・野 田	学外実習（鶴見病院） （症例カンファ、グループ回診、手術）	学外実習（鶴見病院） （病棟実習）
木	小副川・原 武安部・野 田	術後報告、次週の術前カンファレンス、教授（科長）回診、気管支鏡検査、外来診察	病棟実習 ミニレクチャー
金	小副川・原 武安部・野 田	症例カンファレンス、グループ回診、手術、実習総括、教授試問	実習総括、教授試問

集合時間：8時00分（月火水金）、7時45分（木）

集合場所：研究棟6階 ゲノム医療研究室

乳腺外科【Stage1】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

乳腺外科は、乳腺の悪性および良性疾患の診断から治療まで一貫した診療を行っており、その中で外科の位置づけを学び、知識と基本的技術の習得を目的とする。乳腺外科の中で大きな比重を占める乳癌は、わが国の女性における悪性新生物の罹患率で10年以上第1位となっており、その克服は最重要課題である。このような疾患にどのように取り組んでゆくかを実地医療に参加することで学ぶ。

一般目標

- 1) 乳腺疾患の基本的病態を把握し、外科的解剖と診断、外科治療の適応、術式の検討、周術期の病態生理を理解する。
- 2) チーム医療の意義を理解する。
- 3) 患者、家族の心情を理解し共感する。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

- 1) 診療チームの一員（指導医－担当医－研修医－実習学生）として症例を受け持ち、検査結果から手術適応、治療方針の決定の流れを理解する。
- 2) 手術では指導医の指導のもとで縫合、結紮の実技を行う。術後は創処置にも立会い、乳癌の周術期管理を理解する。
- 3) 外来日は外来診療（新患、再来）に立ち会い、新患の方針の決定や、再来患者は特に退院後の外来 follow-up について学ぶ。
- 4) 週に1回の診療科長回診時は bed side で適切なプレゼンテーションを行う。
- 5) 担当患者に関するレポートを提出する。

3. 実習上の注意事項

- 1) 時間厳守。遅れる場合は必ず医局に連絡をするようお願いします。
- 2) 挨拶をする。
- 3) 身なりを整える。適した靴、清潔な服装および白衣を着用し患者に不快感を与えないようにする。
- 4) 患者（家族）には礼儀正しく、真摯な態度で臨む。
- 5) 個人情報の取り扱いには細心の注意を払う。
- 6) 検討会における、質疑への積極的な参加を希望します。

4. 「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示

1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき

問診、全身の診察、バイタルサインチェック、手術助手、縫合・結紮手技、
抜糸を含めた創処置、皮内、皮下、筋肉、静脈注射、超音波検査

2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される

患者、家族への病状説明、手術、組織生検、マンモグラフィ

乳腺外科（呼吸器外科と一部重複しています。）

[スケジュール]（第1週目）

曜日	担当教員	午前	午後
月	小副川・内匠	入院患者カンファレンス、グループ回診、手術	病棟実習 (ミニレクチャー)
火	小副川・内匠	術後報告、術前症例提示、グループ回診、外来診察	病棟実習 ミニレクチャー
水	小副川・内匠	症例カンファレンス、グループ回診、手術	病棟実習 (ミニレクチャー)
木	小副川・内匠	術後報告、次週の術前カンファレンス、教授（科長）回診、外来診察	病棟実習 ミニレクチャー
金	小副川・内匠 末廣	症例カンファレンス、グループ回診、手術、グループディスカッション	病棟実習 (ミニレクチャー)

集合時間：8時00分(月火水金)、7時45分(木)

集合場所：研究棟6階 ゲノム医療研究室

[スケジュール]（第2週目）

曜日	担当教員	午前	午後
月	小副川・内匠	入院患者カンファレンス、グループ回診、手術	病棟実習 (ミニレクチャー)
火	小副川・内匠	術後報告、術前症例提示、グループ回診、外来診察	病棟実習 ミニレクチャー
水	小副川・内匠	学外実習（鶴見病院） (症例カンファ、グループ回診、手術)	学外実習（鶴見病院） (病棟実習)
木	小副川・内匠	術後報告、次週の術前カンファレンス、教授（科長）回診、外来診察	病棟実習 ミニレクチャー
金	小副川・内匠 末廣	症例カンファレンス、グループ回診、手術、実習総括、教授試問	実習総括、教授試問

集合時間：8時00分(月火水金)、7時45分(木)

集合場所：研究棟6階 ゲノム医療研究室